

新型コロナウイルス感染症対策関連予算主な施策

総額 115億8,755万円



- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
69億2,037万円
2021年4月以降、順次65歳以上の方へ
接種券が送付されます。

- バス、路面電車などの交通事業者への支援
5億7,500万円

経営難の交通事業者に対し、パスピー
による運賃割引に要する経費を補助
(対象期間2021年4月～9月)



- 感染症拡大防止協力支援金への負担金
- 新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査の実施
- テレワーク環境整備への支援
- 新型コロナウイルス感染症入院医療費に係る本市負担
- 社会福祉施設等の従事者への支援
- 保育園等における感染症対策
- スクール・サポート・スタッフの配置
- 医療機関による4か月児健康診査の実施
- 医療機関等を支援するための衣料資材の購入
- 介護サービス等継続支援事業
- 保健所・保健センター等で使用する医療資材の購入
- 妊娠・出産包括支援事業に係る利用者負担額の本市負担

【減額補正】

▲家賃負担軽減を行うテナントオーナーへの支援

▲感染症拡大防止協力支援金への負担金

大型公共事業の関連予算(2月補正と新年度予算の合計額)

	総事業費
●サッカースタジアム建設	73億1,471万円
●旧市民球場跡地イベント広場整備	5億9,890万円
●広島駅南口の再整備	13億2,360万円
●高速5号線関連整備	27億7,020万円
●西風新都アストラムライン延伸	2億1,800万円
●西風新都道路整備	6億4,650万円
●西広島駅周辺事業	6億7,288万円
●東部連続立体交差事業	6億6,840万円
※企業立地促進補助事業(60社)	18億6,000万円

県の要請対象外だった



飲食店のみなさまに
30万円支援金

- 飲食事業者応援支援金への負担金
1億4,000万円

- ・県の第2次新型コロナ感染防止集中対策期間
(2021年1月18日～2月7日)に、
- ・営業時間の短縮等の要請対象外で、
- ・2020年12月又は2021年1月の
売り上げが前年同月比で30%以上減少した
飲食店等運営事業者に30万円を支援します。

12億6,000万円

5億3,260万円

3億3,400万円

2億4,516万円

2億3,472万円

2億3,310万円

2億5,114万円

5,590万円

3,234万円

2,912万円

1,713万円

382万円

△9億2,200万円

△1億2,652万円

コロナ禍にも
かかわらず

大型開発最優先！

過去最大！

2021年度一般会計予算

6,837億円

2020年度2月補正予算

22億2,400万円(大型開発関係)

■過去最大の予算

広島市は、一般会計の予算案を議会に提案しました。予算規模は**6,837億円**で、前年度比4.2%増で2年ぶりのプラス予算となり、政令市移行後最大規模となりました。

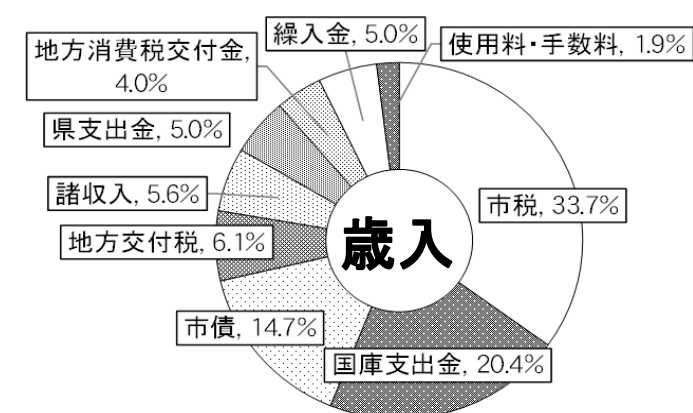
新型コロナの影響により、税収入は減少する中、市債は**1,005億円**(臨時財政対策債含む)と前年度比31.5%の伸び率となり過去最大です。

■大型開発は見直すどころか拡大へ

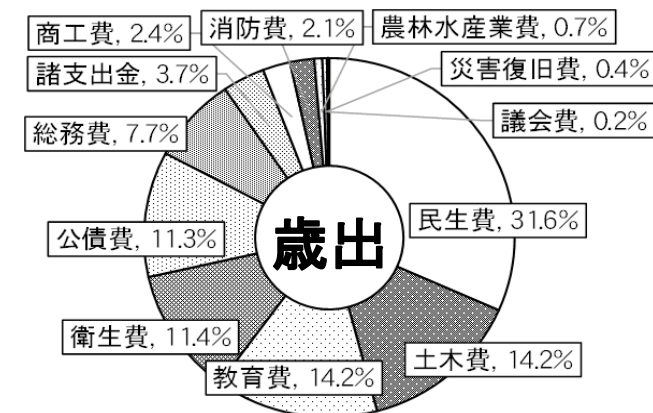
市は昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大に対し、切れ目なく万全の対策を講じるとして、2020年度2月補正予算と2021年度当初予算を一体的に編成したとしています。

ワクチン接種事業やPCR検査の実施、また県の事業である感染症拡大防止協力支援金の負担金などが示されています。しかし、昨年予算を決めた「家賃負担軽減を行うテナントオーナーへの支援」は予算30億円の内およそ10億円は別の事業へ予算を移したうえで、この度9億円の減額補正が行われ、実態にそぐわない支援だったと考えられます。

さらに市は、コロナ関連の追加予算だけでなく、サッカースタジアム建設や広島駅南口の再整備などの大型開発も補正予算に計上し、新年度予算を膨張させる予算となっています。



一般会計予算



市議団NEWS NO.130

2021年2月28日

発行 日本共産党広島市会議員団

広島市中区国泰寺町1-6-34 TEL 082-244-0844 FAX 082-244-1567

新年度の主な事業と予算

くらし

- 重度精神障害者通院医療費助成（新規）
1,505万円
※対象 精神障害者保健福祉手帳1級を所持し、自治る支援医療（精神通院医療）を受給している者
対象医療 通院に係る医療全般
所得制限 （給与所得が159万5千円以下など）
開始時期 2022年2月
- 市営住宅の更新（南観音住宅）
1億5,430万円
- 市営住宅の修繕費（1,085万円の増額）
3億4,085万円
- 国民健康保険料の改定
前年度比平均一人当たり4,462円（3.97%）減額

名前が変わります

生活保護及び生活困窮者自立支援に係る業務は
地域福祉課→保護自立支援課へ



高齢者

第8期広島市高齢者施策推進プラン(2021年度～2023年度) (年間保険料額)

- 第1号被保険者介護保険料の改定
※保険料の増加を抑制するため、前期末の介護給付費準備基金の残高見込み46億円全額を取り崩します。

- 高齢者いきいきポイント事業
12億7,750万円

- 特別養護老人ホームの増設（3年間130人）
4億3,581万円

※第7期において特別養護老人ホームが120人分未設置となりました。
来年度は130人分の施設を建設し、さらに推進プランでは2023年までに180人分の施設を建設予定としています。

しかし、少子高齢化が進む中180人分だけで足りるのでしょうか。

()は、公費を投じて行っている保険料軽減措置前の保険料額

	現行	改定後	改定増減
第1段階	2万2,212円 (3万7,020円)	2万2,500円 (3万7,500円)	288円 (480円)
第2段階	3万7,020円 (5万1,828円)	3万7,500円 (5万6,250円)	480円 (4,422円)
第3段階	5万1,828円 (5万5,530円)	5万2,500円 (5万6,250円)	672円 (720円)
第4段階	6万6,636円	6万3,750円	△2,886円
第5段階（基準額）	7万4,040円	7万5,000円	960円
第6段階	8万1,444円	8万2,500円	1,056円
第7段階	9万2,550円	9万3,750円	1,200円
第8段階	11万1,060円	11万2,500円	1,440円
第9段階	12万5,868円	12万7,500円	1,632円
第10段階	13万6,974円	13万8,750円	1,776円
第11段階	15万1,782円	15万3,750円	1,968円
第12段階	16万6,590円	16万8,750円	2,160円
第13段階	18万1,398円	18万3,750円	2,352円

子ども・教育

- 待機児童対策（6園 382人増員）
認可保育園新設・増築、認定こども園分園・増築、小規模保育新設
17億3,780万円
- 特別支援学校の増築等
2億6,412万円
- 児童館整備
（春日野・石内の新設 竹屋建替え）
（遊戯室への空調整備／設置25館 実施設計22館 合計47館）
※5年計画で全ての遊戯室にエアコンが整備されます
3億5,546万円
6,510万円
- 民間放課後児童クラブ運営費補助（42学区 74クラス）
11億5,359万円
- トイレの洋式化（43校）※洋式率50%を超えましたが継続します
9,120万円
- 産前・産後サポート事業【拡充】利用期間 産後8週以内⇒産後1年未満
229万円
- 産後ケア事業【拡充】利用期間 産後8週以内⇒産後16週以内
1,522万円
- 産後ヘルパー派遣事業
483万円
【拡充】①産後8週以内⇒産後1年未満
②多胎児の産婦の利用回収の上限を単胎児の産婦の2倍まで拡充
- 不妊治療費助成事業
3億8,362万円
【拡充】①限度額 15万/回（初回のみ30万）⇒30万円/回
②所得制限 夫婦の合計で730万円未満 ⇒ 制限なし
③対象者に事実婚の夫婦を加える
- 子どもの医療費補助
22億6,831万円
【拡充】①対象 通院 小3⇒小6
②窓口負担の所得基準以上の未就学児
1日1000円（月2回）⇒初診料のみ1000円（月2回）



平和事業

- NPT再検討会議への出席（米国・ニューヨーク市）
606万円
- 核兵器禁止条約締約国会議への出席（オーストリア・ウィーン市）
502万円
- 平和首長会議ヨーロッパ支部会議への出席（スペイン・グラノーラズ市）
524万円
- 核兵器禁止条約に関するシンポジウムの開催
362万円
- 平和文化月間におけるイベントの開催（新規）
500万円
※毎年11月を平和文化月間と定めて平和コンサートや講演を行う
- 伝統芸能による平和発信（新規）
200万円
※原爆ドーム世界遺産登録25周年の節目の年として、ドーム周辺で伝統芸能の上映などを行う。

防災・災害対策

- 急傾斜地崩壊防止対策事業
市施工事業（27箇所） 11億1,000万円
県施工事業負担金（25箇所） 9,000万円
- 河川施設災害復旧（29河川） 11億8,900万円

選挙

今秋までに行われる総選挙から、
広島駅南口地下広場で期日前投票が
全8区どなたでもできるようになります。

